

南紀白浜コミュニティ放送株式会社
令和5年6月期 番組審議会の報告

放送事業者は、放送番組の適正化を図るために定期的に番組を審議する番組審議会を行うことが、「放送法」で定められています。FM ビーチステーションでも、白浜町在住の9名の委員によって委員会を開催しています。令和5年6月27日に開催されました番組審議会の内容の一部をご報告します。

事務局：公私ともお忙しい中、出席を賜り誠に有難うございます。定時になりましたので開催させていただきます。本日視聴いただく番組は、「こんにちは赤ちゃん」です。毎月、白浜町中央保健センターで行われている乳幼児健診に伺い、生後4か月検診に来ているお父さんとお母さんに初めて赤ちゃんを抱っこした日のこと、好きなしぐさ、幸せだと感じる時などをインタビュー。10年後、20年後、お子さんと聴いていただきたいと思い、成長していくお子さんへのメッセージもお聞きしています。放送後には出演の記念に放送データをプレゼントしています。ご審議の程よろしく願いいたします。

委員長 各委員からのご意見やご感想をお願いします。

委員 とても良い番組である。お母さんの言っている内容は他愛もないことだが、その声に幸せが満ち溢れている。こういう番組は必要だと思う。

委員 聴いていて微笑ましい。最近幼児に関する事件のニュースが多いので、ほっとした。

委員 ほっとする番組である。出産のときは痛いのが、産んで顔を見た瞬間にまた2人目が欲しくなった。そんなことを思い出した。

委員 男の子か女の子かわからない赤ちゃんがいたが？

事務局 昨今のご時世により聞いておりません。

委員 白浜にもこんなに赤ちゃんが誕生していることにびっくりした。赤ちゃんが多い町は栄える。どんどんこういう番組を流してほしい。

委員 白浜町の人口は何人ですか？

事務局 5月末時点で20,328人です。

委員 インタビュアーが女性で柔らかい雰囲気があって、余計にお母さんもしゃべりやすいと思う。

委員 放送の中でお母さんが、とにかく元気に、丈夫な子に育ててほしいと言っていたが、10年もしたら勉強しなさい、宿題したかと聞くようになるだろう。

事務局 審議有難うございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。